

令和4年度 後期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

目 次

- 1 はじめに
 - 2 全体の概要
 - 3 全体の集計結果
 - 4 対象となる授業一覧
 - 5 資料
 - 5-1 授業評価票（別紙1）
 - 5-2 自己点検レポート（サンプル）（別紙2）
- 個々の授業別結果 及び 教員の自己点検レポート

1 はじめに

本報告書は、令和4年度 後期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。

今年度より、授業評価アンケートは Google Form を利用し実施することとした。これは新型コロナウイルス感染拡大が継続することで、従来の紙媒体での授業評価を実施しづらくなっていることによる事であった。対象を開講している全科目としているが、履修者が1名以下の場合の授業は、学生個人が特定されるために調査していない。また、調査期間が新型コロナ感染状況を考慮し、オンライン授業となるものも多く、紙媒体にて調査を行っている現状では、実施が不可能となった科目も多くあった。非常勤講師も含め、回収率向上のための手立てが必要と思われ、次年度からのオンライン化が急務である。

授業評価の必要性の認識は学内に定着しつつある。今後その効果を有効化させしていくために授業評価の必要性や活用についてのFDが必要である。また、新型コロナウイルス感染症流行による授業への影響はいまだ継続している。運営側も受講側も日々試行錯誤を繰り返している中、この授業アンケートが学生と教員の橋渡しの役割を担うものとなることを期待する。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成 20 年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙 1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

集計結果は、全体のデータをまとめるとともに、個々の授業別結果（サンプルは別紙 2）を授業担当教員にもどし、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。各授業の各項目について、大学全体の 5 段階の平均値が示されており、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出（サンプルは別紙 3）する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 300 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の

点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

令和4年度後期の授業評価の全体の結果について、いずれの設問でも肯定的な回答が90%以上である。学生自身の授業態度について、設問の「出席」の1の回答が66.9%ではあったが、これを除く全項目について1の回答は80%代で、2の回答と合わせた肯定的評価が90%以上であった。

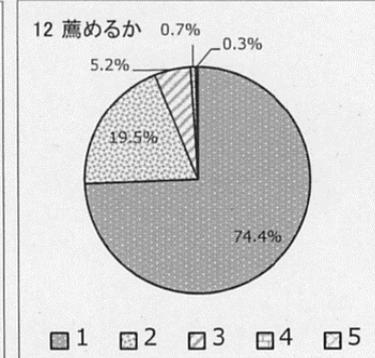
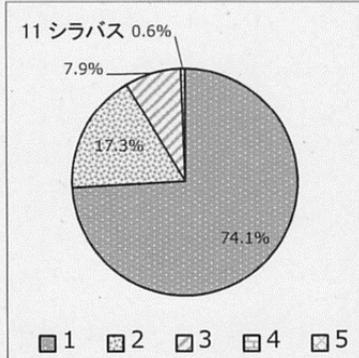
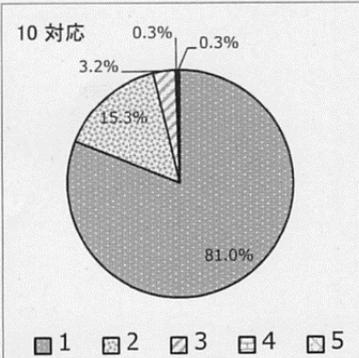
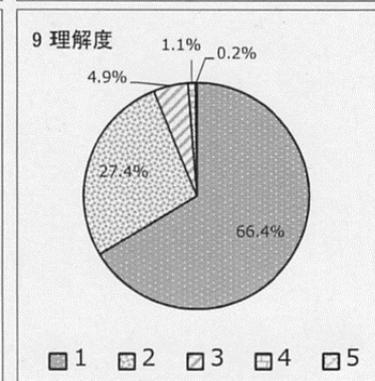
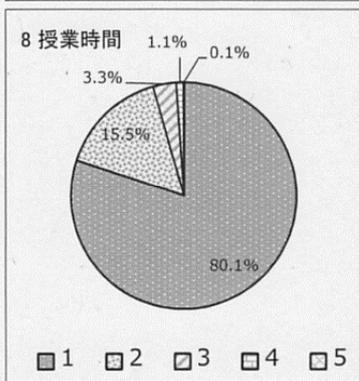
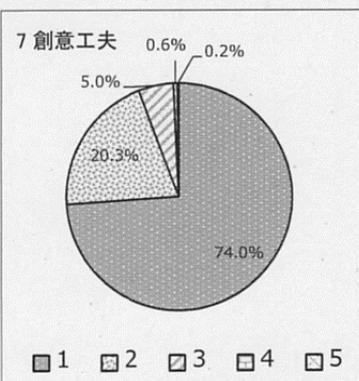
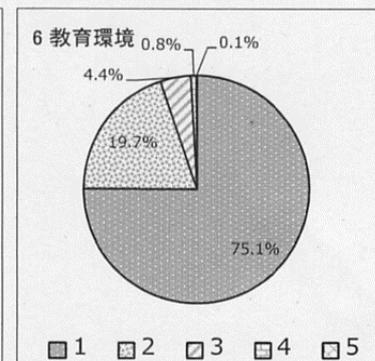
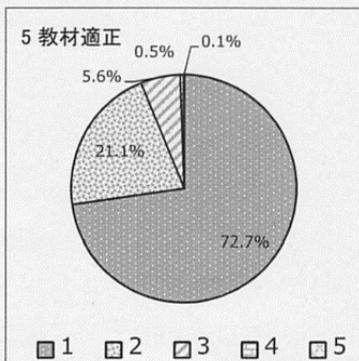
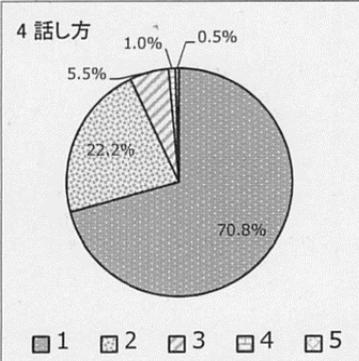
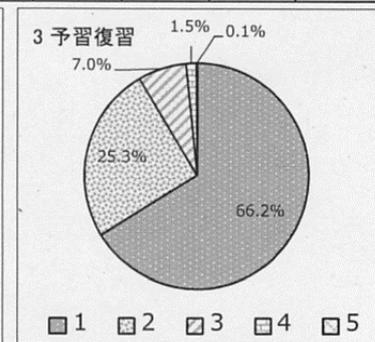
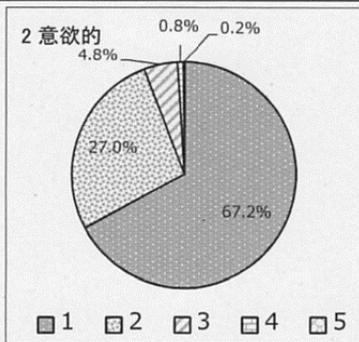
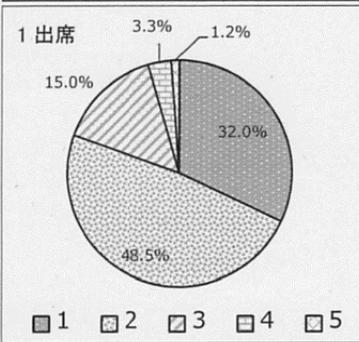
ハイフレックス授業の影響として、「教材適正」、「理解度」については注目すべきところであるが、「教材適正」は1の回答が86.7%、2の回答と合わせると96.2%、「理解度」は1の回答が81.7%、2の回答と合わせると96.2%だった。これらは、例年の結果との差は認められないものであった。

全体的な評価は高かったが、各授業の特性から今後も科目ごと検討を重ねていくことが望まれる。

まとめ

調査票件数: 1425

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	出席	意欲的	予習復習	話し方	教材適正	教育環境	創意工夫	授業時間	理解度	対応	シラバス	薦めるか
1	456	957	942	1008	1034	1065	1054	1140	943	1152	1054	1054
2	690	385	360	316	300	280	289	220	390	217	246	276
3	214	68	99	79	80	62	71	47	70	45	113	73
4	47	12	21	14	7	11	8	15	15	4	9	10
5	17	3	2	7	1	1	3	1	3	4	0	4
	1424	1425	1424	1424	1422	1419	1425	1423	1421	1422	1422	1417



4 対象となる授業一覧

令和4年度後期

科目番号	講義名	担当教員	調査	レポート	学科
基礎科目					
1001	文学	栗原	○	○	保育・服飾美術
1003	日本国憲法	矢吹			保育・服飾美術
1004	教育学	秋川			服飾美術
1005	生命科学	高橋（和）	○	○	保育・服飾美術
1007	心理学	澤田			保育・服飾美術
1012	情報機器の操作Ⅱ	大原		○	保育
1014	情報処理演習Ⅱ	大原		○	服飾美術
1016	英語Ⅱ（コミュニケーション）	栗原	○	○	保育
1018	英語Ⅱ（コミュニケーション）	栗原	○	○	服飾美術
1019	英語Ⅳ	栗原	○	○	保育・服飾美術
1021	フランス語Ⅱ	石井	○	○	服飾美術
1022	健康科学概論（1/4）	及川	○	○	保育・服飾美術
保育学科					
2002	教育原理	小久保	○	○	保育
2005	子ども家庭支援論	宮崎			保育
2006	社会的養護Ⅰ	宮崎			保育
2008	教育の制度と社会	小久保	○	○	保育
2010	発達心理学Ⅱ	長櫓・平岡	○	○	保育
2011	幼児理解の理論と方法	長櫓	○	○	保育
2013	子どもの食と栄養	小野	○	○	保育
2014	特別支援教育	眞次	○	○	保育
2015	教育相談	長櫓	○	○	保育
2019	健康の指導法	中永	○	○	保育
2020	人間関係の指導法	木戸	○	○	保育
2021	環境の指導法	大江	○		保育
2022	言葉の指導法	浅野	○		保育

2024	音楽表現の指導法	別府	○	○	保育
2025	造形表現の指導法	金山	○	○	保育
2026	身体表現の指導法	若林			保育
2027	劇表現の指導法	浅野			保育
2032	幼児と表現	金山・浅野・三川			保育
2033	幼児と器楽表現Ⅰ 青木	青木	○		保育
2034	幼児と器楽表現Ⅰ 高須	高須	○		保育
2035	幼児と器楽表現Ⅰ 中田	中田	○	○	保育
2036	幼児と器楽表現Ⅰ 山	山	○		保育
2037	幼児と器楽表現Ⅰ 田中	田中	○		保育
2038	幼児と器楽表現Ⅰ 別府	別府	○	○	保育
2039	幼児と器楽表現Ⅱ 工藤	工藤			保育
2040	幼児と器楽表現Ⅱ 高須	高須	○		保育
2041	幼児と器楽表現Ⅱ 中田	中田	○	○	保育
2042	幼児と器楽表現Ⅱ 山	山	○		保育
2043	幼児と器楽表現Ⅱ 青木	青木	○		保育
2044	幼児と器楽表現Ⅱ 田中	田中	○		保育
2045	幼児と器楽表現Ⅱ 長岡	長岡	○	○	保育
2046	幼児と器楽表現Ⅱ 別府	別府	○	○	保育
2047	幼児と歌唱表現Ⅰ	三川	○	○	保育
2051	児童文化学	浅野			保育
2052	乳児保育Ⅰ	平岡	○	○	保育
2054	子どもの健康と安全	平岡			保育
2055	障がい児保育	眞次	○	○	保育
2057	子育て支援	眞次	○	○	保育
2059	保育実習Ⅰ(2)	宮崎・長檜			保育
2062	保育実習法Ⅰ	宮崎・長檜			保育
2066	教育実習	小久保			保育
2068	保育・教職実践演習	小久保・木戸・長檜			保育
2069	総合演習 木戸	木戸	○	○	保育
2070	総合演習 金山	金山	○	○	保育

2071	総合演習 小久保	小久保			保育
2072	総合演習 眞次	眞次			保育
2073	総合演習 宮崎	宮崎			保育
2074	総合演習 栗原	栗原	○	○	保育
2075	総合演習 長櫓	長櫓	○	○	保育
2076	総合演習 平岡	平岡	○	○	保育
2077	総合演習 三川	三川			保育
2079	総合演習 別府	別府	○	○	保育
2080	総合演習 浅野	浅野	○	○	保育
服飾美術学科					
3002	アパレル総論	榊原・児島・大川・高杉・ 前田・大原・岩崎・唐澤			服飾美術
3007	服飾造形実習Ⅱ 乾	乾	○	○	服飾美術
3008	服飾造形実習Ⅱ 武永	武永	○	○	服飾美術
3010	服飾造形実習Ⅳ	乾	○	○	服飾美術
3011	パターンメイキング(CAD)Ⅰ 乾	乾	○	○	服飾美術
3012	パターンメイキング(CAD)Ⅰ 武永	武永	○	○	服飾美術
3016	手工芸	高橋(敏)	○	○	服飾美術
3022	服飾材料学	道明	○	○	服飾美術
3023	服飾材料学実験	道明	○	○	服飾美術
3025	服飾人間環境学実験	佐藤(希)	○	○	服飾美術
3027	ファッション企画論	大島・田代・永田・安田・ 高田・福川・武鏈			服飾美術
3028	身体科学論	柳原			服飾美術
3029	ビジネス基礎	岩崎・大原・唐澤			服飾美術
3031	簿記論	増子	○	○	服飾美術
3032	マーケティング論	岩崎			服飾美術
3033	消費者行動論	岩崎			服飾美術
3035	マーケティング戦略論	岩崎			服飾美術
3037	基礎経済学	唐澤			服飾美術
3038	地域産業論	唐澤			服飾美術

3039	まちづくり論	唐澤			服飾美術
3041	現代アート&デザイン史	趙			服飾美術
3045	モードデッサンⅡ	趙			服飾美術
3046	現代芸術造形論	趙			服飾美術
3051	クリエイション演習	上村	○	○	服飾美術
3053	デザイン・アート論	上村・田中他	○	○	服飾美術
3054	美術史	柳沢			服飾美術
3057	染織Ⅱ	田中	○	○	服飾美術
3058	染色	田中	○	○	服飾美術
3061	ビジュアルデザインⅢ	小寺	○	○	服飾美術
3062	ビジュアルデザインⅣ	佐藤(豪)	○	○	服飾美術
3065	表現演習	松内			服飾美術
3067	ディスプレイデザイン演習	松内			服飾美術
3070	インターンシップⅠ	服飾美術学科全教員			服飾美術
3073	インターンシップⅡ	服飾美術学科全教員			服飾美術
3074	課題研究 乾	乾			服飾美術
3075	課題研究 岩崎	岩崎			服飾美術
3076	課題研究 上村	上村	○	○	服飾美術
3077	課題研究 大原	大原			服飾美術
3078	課題研究 唐澤	唐澤			服飾美術
3079	課題研究 佐藤	佐藤	○	○	服飾美術
3080	課題研究 田中	田中	○	○	服飾美術
3081	課題研究 趙	趙			服飾美術
3082	課題研究 松内	松内			服飾美術
3083	課題研究 道明	道明	○	○	服飾美術
3084	課題研究 武永	武永	○	○	服飾美術
3085	卒業研究 乾	乾	○	○	服飾美術
3086	卒業研究 岩崎	岩崎			服飾美術
3087	卒業研究 上村	上村	○	○	服飾美術
3088	卒業研究 大原	大原			服飾美術
308	卒業研究 唐澤	唐澤			服飾美術

3088	卒業研究 佐藤	佐藤	○	○	服飾美術
3089	卒業研究 田中	田中	○	○	服飾美術
3090	卒業研究 趙	趙			服飾美術
3091	卒業研究 松内	松内			服飾美術
3092	卒業研究 道明	道明	○	○	服飾美術
3093	卒業研究 武永	武永	○	○	服飾美術
専攻科・関連科目					
4004	スポーツ 2	及川			保育臨床専攻
4005	生活福祉論	井村			保育臨床専攻・ 服飾美術専攻 (専門)
4012	ビジュアルデザイン演習	ウォルトン	○	○	服飾美術専攻
4014	ドローイングⅡ	野村	○	○	服飾美術専攻
保育臨床専攻					
5004	幼児の身体・運動遊び演習	及川	○	○	保育臨床専攻
5005	幼児の劇遊び演習	溝手			保育臨床専攻
5006	音楽指導法特別演習Ⅰ	別府			保育臨床専攻
5013	比較教育特論	小久保	○	○	保育臨床専攻
5018	保育・教育臨床心理学実践特論	長檜	○	○	保育臨床専攻
5019	児童文化学特論	溝手			保育臨床専攻
5020	幼稚園体験活動	及川			保育臨床専攻
5022	専門英語文献講読	栗原	○	○	保育臨床専攻
5026	親子支援演習	木戸	○	○	保育臨床専攻
5027	子どもの音楽療法	三川	○	○	保育臨床専攻
5028	障がい児保育特論	眞次	○	○	保育臨床専攻
5030	子育て支援実習	眞次			保育臨床専攻
5031	特別研究Ⅰ 木戸	木戸			保育臨床専攻
5032	特別研究Ⅰ 金山	金山			保育臨床専攻
5033	特別研究Ⅰ 小久保	小久保			保育臨床専攻
5034	特別研究Ⅰ 眞次	眞次			保育臨床専攻
5035	特別研究Ⅰ 溝手	溝手			保育臨床専攻

5036	特別研究Ⅰ 栗原	栗原			保育臨床専攻
5037	特別研究Ⅰ 長櫓	長櫓			保育臨床専攻
5038	特別研究Ⅰ 平岡	平岡	○	○	保育臨床専攻
5039	特別研究Ⅰ 三川	三川			保育臨床専攻
5040	特別研究Ⅰ 及川	及川			保育臨床専攻
5041	特別研究Ⅰ 別府	別府			保育臨床専攻
5042	特別研究Ⅱ 木戸	木戸			保育臨床専攻
5043	特別研究Ⅱ 金山	金山			保育臨床専攻
5044	特別研究Ⅱ 小久保	小久保			保育臨床専攻
5045	特別研究Ⅱ 眞次	眞次			保育臨床専攻
5046	特別研究Ⅱ 溝手	溝手			保育臨床専攻
5047	特別研究Ⅱ 栗原	栗原	○	○	保育臨床専攻
5048	特別研究Ⅱ 長櫓	長櫓			保育臨床専攻
5049	特別研究Ⅱ 平岡	平岡	○	○	保育臨床専攻
5050	特別研究Ⅱ 三川	三川			保育臨床専攻
5051	特別研究Ⅱ 及川	及川			保育臨床専攻
5052	特別研究Ⅱ 別府	別府	○	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻					
6001	生活文化環境論	服美全教員			服飾美術専攻
6002	生活情報論	上村	○	○	服飾美術専攻
6004	服飾造形実技Ⅰ	武永	○	○	服飾美術専攻
6006	服飾造形実技Ⅲ	武永			服飾美術専攻
6007	手工芸論	高橋（敏）	○	○	服飾美術専攻
6011	被服生理学	佐藤	○	○	服飾美術専攻
6012	被服生理学実験	佐藤	○	○	服飾美術専攻
6014	アパレルコンピュータ論	道明	○	○	服飾美術専攻
6019	ブランド論	岩崎			服飾美術専攻
6022	アート&メディア論	趙			服飾美術専攻
6029	工芸染織	田中	○	○	服飾美術専攻
6030	染色実習	田中	○	○	服飾美術専攻
6033	ライフプロダクト演習Ⅰ	上村	○	○	服飾美術専攻

6036	特別研究 乾	乾			服飾美術専攻
6037	特別研究 岩崎	岩崎			服飾美術専攻
6038	特別研究 上村	上村			服飾美術専攻
6039	特別研究 大原	大原			服飾美術専攻
6040	特別研究 唐澤	唐澤			服飾美術専攻
6041	特別研究 佐藤	佐藤			服飾美術専攻
6042	特別研究 田中	田中			服飾美術専攻
6043	特別研究 趙	趙			服飾美術専攻
6044	特別研究 松内	松内			服飾美術専攻
6045	特別研究 道明	道明			服飾美術専攻
6046	特別研究 武永	武永			服飾美術専攻

5-1 授業評価票（別紙1）

令和4年度 前期・**後期** 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生諸君の学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的として、本学自己評価委員会が実施するものです。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

自己評価専門部会

* 自由記述以外の回答はすべて、該当する番号を右端の回答欄に記入してください。

学科／専攻	1. 保育学科／専攻科(保育臨床専攻) 2. 服飾美術学科／専攻科(服飾美術専攻)
学年・所属	1. 1年 2. 2年 3. 科目等履修生

I あなた自身の授業態度についてお答えください。(わからない場合は、回答欄は空欄のまま
で結構です)

NO.	問い	選 択 肢
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1. 欠席しなかった 2. 1～2回欠席した 3. 3～4回欠席した 4. 5回欠席した 5. 6回以上欠席した
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。	1. 意欲的に取り組んだ 2. どちらかという、意欲的に取り組んだ 3. どちらともいえない 4. どちらかという、意欲的に取り組まなかった 5. 意欲的に取り組まなかった

3	あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。	1. 積極的に取り組んだ 2. どちらかという、積極的に取り組んだ 3. どちらとも言えない 4. どちらかという、積極的に取り組まなかった 5. 積極的に取り組まなかった
---	---	--

II この授業の評価についてお答えください。

NO.	評価項目（質問事項）	選 択 肢
4	教員の話し方は、明瞭でわかり易いものでしたか。	1. わかり易いものだった 2. どちらかという、わかり易いものだった 3. どちらともいえない 4. どちらかという、わかり易いものではなかった 5. わかりにくかった
5	使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたか。	1. 適切だと思った 2. どちらかという、適切だと思った 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切だと思った 5. 不適切だと思った
6	授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかと言うと、満足できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
7	授業内容をより良く理解させるための創意・工夫が感じられましたか。	1. 創意・工夫が感じられた 2. どちらかという、創意・工夫が感じられた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、創意・工夫は感じられなかった 5. 創意・工夫が感じられなかった
8	授業の特性を考慮した上で、授業の開始時間および終了時間は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかという、満足できた 3. どちらともいえない

		<ul style="list-style-type: none"> 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
9	授業の内容は、十分に理解できましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 十分に理解できた 2. どちらかと言うと、理解できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、理解できなかった 5. 理解できなかった
10	教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 適切に対応してくれた 2. どちらかという、適切に対応してくれた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切な対応だった 5. 不適切な対応が多かった
11	シラバスに基づいて授業を展開しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. シラバスに基づいて展開した 2. どちらかという、シラバスに基づいて展開した 3. どちらともいえない 4. どちらかという、シラバスに基づいての展開ではなかった 5. シラバスに基づいての展開ではなかった
12	この授業内容について、他の人(とくに後輩たち)にも受講を薦めたいと思いませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 是非、薦めたい 2. どちらかという、薦めたい 3. どちらともいえない 4. どちらかという、薦めたくない 5. まったく、薦めたくない
追加質問 13		

自由記述	その他、気づいたことがあれば、自由に書いて下さい。
------	---------------------------

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和3年度 後期授業評価：自己点検レポート

担当教員氏名〔 〕

学科・専攻名〔 学科／ 専攻〕

授業評価 科目名〔 〕 授業番号〔 〕

*** 提出期限：令和4年6月30日(木)**

提出について(データファイルと紙媒体の両方)

・データファイル：

提出先：令和4年度自己評価専門部会(道明、michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp)(wordファイルで)

提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「授業番号・氏名・教科名」をつけてください。

・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてあるボックスに入れてください。

※字数：1・2については300字程度(必ず記入)、3・4は制限なし

- 1 前回からの改善点(前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。)

- 2 今回の授業評価結果についての分析(「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」がわかるように、箇条書きで記載してください。)

3 上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み

--

4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題

--

5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

--

2023年8月10日

倉敷市立短期大学 令和5年度 大学活動推進委員会

保 育 学 科 : 平岡 敦子、松浦 和子
三川 美幸

服飾美術学科 : 上村 晴彦、田中 孝明

学生部 : 吉田 智子